

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2013-533449(P2013-533449A)

【公表日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-509273(P2013-509273)

【国際特許分類】

F 2 4 J 3/08 (2006.01)

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 J 3/08

F 2 4 F 11/02 Z

F 2 4 F 11/02 P

F 2 4 F 11/02 1 0 3 D

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 C

H 0 4 Q 9/00 3 1 1 J

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月7日(2014.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

暖房及び冷房システム内の貯蔵部を含む、複数の異なる熱エネルギー源及びシンクの最適使用を決定するための方法であって、

前記システムによって使用可能な前記熱源のうちの 1 つ又は複数の中に貯蔵される前記熱エネルギーを決定するステップと、

前記システムによって使用可能な 1 つ又は複数の熱シンクの前記熱エネルギー容量を決定するステップと、

前記 1 つ又は複数の熱源、シンク、及び貯蔵部に関する熱エネルギー貯蔵及び散逸率を決定するステップと、

事前選択の期間にわたる熱貯蔵容量を分析するステップと、

貯蔵期間にわたる熱エネルギー損失及び利得並びに熱貯留を予測するステップと、

利用可能な熱源を目標パラメータと比較するステップと、

前記熱源又はシンクのうちの少なくとも 1 つを選択するステップと、

前記選択された少なくとも 1 つの熱源又はシンクの使用を開始するステップとを含む、方法。

【請求項 2】

前記熱源及び熱シンクは、ハイブリッド熱シンク及び熱源を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記熱源及び熱シンクの各々は、地熱源及びシンクを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

リアルタイムデータに基づく熱源需要を決定するステップをさらに含む、請求項 1 に記

載の方法。

【請求項 5】

前記熱源需要は、予測される将来の熱源需要である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記将来の熱源需要を満足する際に使用可能な、熱補足及び熱貯蔵ステップをさらに含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

気象トレンド及び履歴データに基づき、将来の熱源需要を予測するステップをさらに含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記予測される将来の熱源需要を満足するために前記熱源または熱シンクの少なくとも 1 つを充填するステップをさらに含む、請求項 5 に記載の方法。